

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年2回実施されている避難訓練は日中に行っている為、夜勤専属の職員が参加する事が時間的に困難な事や、夜間帯は職員が一人の体制で勤務を行っているので、災害や火災時に備えた避難訓練を行い利用者様の誘導を行って見て問題点を職員で話し合ってみる。	災害や火災時に利用者様を誘導出来るように訓練を行い意識を高める。	夜間帯は一人での勤務体制なので訓練の日は他の職員は隠れていて、一人で誘導をしてみよう問題点を職員全員でカンファレンスしてみる。	6ヶ月
2	6	現在、夜間帯に4名の方がつなぎを着用しており、身体拘束をしなくても良いケアを目指し話し合いも行っているが、夜間帯は職員が1名の為に便やオムツいじりがおきると介助が大変な為に時間帯を決めて家族の同意を得て行っている。	身体拘束をしないケアを目指し取り組んでいく。	定期的にカンファレンスを行い拘束をしなくてよい介助を話し合っていく。どうしてもつなぎを着用しなければならない時は、職員に拘束についての理解を深めてもらう為に研修に参加してもらい意識をたかめていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月